

ガイダンスセンターの検討について

1. ガイダンスセンターの整備の検討状況

1) ガイダンスセンターの位置づけ

「アイランドシティはばたき公園基本計画（整備プラン）（平成27年3月策定）」において、ガイダンスセンターの整備には民間活力の導入を検討することとしている。

2) ガイダンスセンターの事業手法の検討状況

環境共生についてより多くを学べる施設とするため、ガイダンスセンターの整備及び運営に民間事業者のノウハウを活用することを検討している。

事業者の選定にあたっては、従来方式のような市が施設の細かな規格や仕様を指定する発注方式ではなく、市が施設に求める性能を指定し、公募により民間事業者に自由な発想で提案を求める方式を検討している。事業者の公募にあたっては、市が求める性能や諸条件を公募要項等に記載することとなる。公募で選定された事業者が設計、工事、運営を行うこととなる。

3) ガイダンスセンター整備の方向性の検討状況

ガイダンスセンターは、本公園の各ゾーンを結節する管理・運営の拠点及び来園者の窓口になる施設として、また、来園者が本公園に飛来する野鳥を観察したり、生き物や環境について詳しく知ることができる施設として整備することを検討している。

① ガイダンスセンターの概要（検討中）



構造	鉄骨造 ※その他同等以上の性能が確保できる構造も可とする
床面積	700m ² ～ 1,000m ² 程度
階数	2階建て以下 ※表1に示す展望スペースからの湿地及び海側の見え方や、湿地及び海にいる野鳥からの施設側の人間の見え方に関する配慮を踏まえた検討を行うものとする
その他	・水域①周辺に生き物の生息場所として裸地を確保すること ・建物等の形状については、湿地から芝生広場の人影が見えないようにすること（鳥が安心して休息できる環境の確保のため） ・施設内で音楽イベントなど大きな音を出す行為や、湿地内のライトアップなどの野鳥を驚かす行為は禁止

②ガイダンスセンターに必要な基本機能・空間

ガイダンスセンターに必要な基本的な機能や空間（スペース）を下表のとおり検討しています。事業者公募におけるガイダンスセンター整備計画の提案に際しては、下表の基本機能を必須とすることを想定している。

※具体的な諸室の構成やそれぞれの床面積は現在検討中。

表1 ガイダンスセンターの基本機能（案）

基本機能【必須】	想定される空間（スペース）【例】
管理機能	公園管理者の事務スペース
	受付・案内スペース
	管理用資機材の保管スペース
情報発信機能	写真、模型、映像等による展示スペース
	公園資料・図書閲覧スペース
学習機能	野鳥に関する情報提供、観察ができる展望スペース
	昆虫や植生の観察スペース
	工作学習スペース
	学習会や専門家の講義を受けることができる集会スペース
交流機能	ボランティアの活動・市民の交流拠点
	休憩スペース

2. ガイダンスセンター整備に関する今後の流れ（想定）

